

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>・理念に基づいたケアを目標にし、職員一人一人、日々取り組んでおります。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>・日頃から理念を達成する為には何が必要なのかを考えております。又、ミーティングで 理念や組織について内部研修を行っております。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>・地域交流や運営推進会議等へのお誘い、参加して頂き、理解して頂けるように取り組んでおります。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>・近所の方がボランティアとして人形や小物作りに来て頂いております。又、散歩の際には、声を掛けて頂いております。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>・地域交流として、行事の参加のお誘い(畑・花植え、収穫・避難訓練等)、運営推進会議でも交流を深めております。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>・運営推進会議では協力できることはないかを話したり、近隣の方と協力して掃除や除雪を行っております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	・自己評価、外部評価の際には必ず職員に説明し、理解した上で過去の評価を改めて見直して改善や質向上を話し合いをして取り組んでおります。		
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・改善すべき点は話し合いをし、素早く取り組んでサービスの向上や改善に取り組んでおります。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	・月一度、西区の管理者会議に出席し、区役所の職員と連携を図っております。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	・学ぶ機会がなく行えてはおりません。	○	・今後、研修会の機会がありましたら、積極的に参加していきたいと思っております。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	・ミーティングや新しい職員が入った時、日々の職員との会話で虐待についての説明を行ったり、マニュアルを作成をしておりますので、常に見られるように置いてあります。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	・契約を結ぶ際には必ず十分な説明をし、重要事項説明書などの交付を行い実施しております。又、事前の解約についての説明も十分に行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・苦情窓口を設け、管理者・職員共に意見、不満、苦情をいつでも誰にでも話せるようにコミュニケーションを図り、傾聴の場を設けております。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>・毎月ホーム便りやお小遣い出納簿を発行しております。又、入居者様に急変や薬の変更、新しく病院を受診する際や遠出をする折りは、必ず連絡を行い報告しております。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・家族の意見を聞き、運営に反映できるように取り組んでおります。又、苦情ボックスの設置や第三者機関を設けております。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・1ヶ月に一回ミーティングを行っております。又、日々の中でも何かあれば都度声を掛けたり、連絡をして話し合いを行っております。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>・出来る限り要望に合わせてシフトの作成、変更を行っております。又、連絡網を作成し対応しております。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>・職員同士コミュニケーションを図り、信頼関係を深め楽しく、明るく、元気に何でも話せるような環境の下で働けるように努めております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>・外部研修への参加や日々のケアの中で指導を行い、職員のスキルアップに努めております。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>・管理者研修に月1回参加したり、外部研修に参加し、質の向上に努めております。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>・日々話し合いを持ったり、美味しい物を食べたり、旅行に行ったりとストレスの軽減を波図っております。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>・理念について話し合いを行い、向上心を持って働けるように努めております。 ・個々に合わせた仕事、役割を持って働けるように努めております。 ・資格取得に各自取り組んでおります。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>・コミュニケーションを大切にし、ここの生活をできる限り崩さないように努め、信頼関係を築くように努めております。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>・ご家族や、ご本人と十分話し合いを行い、信頼関係を築くように努めております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・ご本人、ご家族の話を傾聴し、どんな事に不安や疑問を感じているのかを話し合い、ケアプランに反映し必要とする支援を提供できるように心掛けております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・入居前にはご本人様にも見学して頂き、ご家族様にも十分話し合いを行い、入居できるように努めております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・入居者様をいつも「自分の親だったら」「自分だったら」と相手の気持ちを考えて、共に過ごしております。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	・常にコミュニケーションを取り、入居者様の状態を把握しご家族に報告して共に支え合える関係作りをしております。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・入居者様よりご家族の事を聞くと共に相談し、理解していただけるように努めております。又、ご家族様からの要望があった場合は、傾聴し関係が築けるように支援しております。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・身元を確認した上で面会や手紙を書いたり、友人・知人を大切にさせて頂いてもらっております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・入居者様同士話しをしたり、レクリエーションなどで楽しく過ごされております。入居者間でのトラブルがないように関係を十分に把握し、対応させて頂いております。トラブルが起こりそうな時は、職員が仲介に入るようにしております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	・必要に応じて良い関係を続けられるように付き合いを大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・毎日の会話の中から希望などをお聞きし、ケース記録や連絡ノートに記入し、職員間で情報を共有出来るようにしております。 ・困難な希望や思いが伝えられない方にはなるべく近いものを提供し、その人らしく生活できるように支援しております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・入居前にはご本人、ご家族から十分にアセスメントを行い、個々の情報を把握しております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	・一人ひとりの体調に合わせた役割や場面を作れるように日々の暮らしの中で、個々のペースを把握するように努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	・ご本人、ご家族様の希望を基に、スタッフ全員がアセスメントを共有し、カンファレンスの中からの意見を介護計画に反映できるように努めております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・3ヶ月ごと見直しを行うと共に、現状に即した介護計画を作成できるよう担当者とスタッフが話し合いを行い、ご家族様に現状を知って頂き、新しい計画を作成しております。又、見直し以前に、状態の変化が生じた場合は、必要な関係者に意見を聞くなどしてその時の状態に応じた新プランを作成しております。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・スタッフ全員が日々の様子の変化やちょっとした会話からの気づきを、個別のノートや申し送りノート、当月プラン等に記入して月1回の評価に活かしております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	・ご本人、ご家族様の状況、その時の要望に応じて系列事業所との交流も視野に入れて支援しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	・入居者様も参加されて消防署における救命救急の処置・対応の研修や避難訓練(防災)を実施しております。 ・2ヶ月に1回近所の方がボランティアで人形や小物作りの教室を開催して頂いております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	・現状では、他のサービスを利用されたい意向や要望もありませんので、行っておりません。	○	・必要があれば行っていききたいと思います。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	・権利擁護やケアマネジメント等をする事がありませんでした。	○	・必要性に応じ、運営推進会議を通して、地域包括センターと協働していききたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>・看護師が週1回勤務に入り対応しております。又、それぞれの入居者様の担当医には2週間に1度の訪問診療、月に1度の往診に来られております。緊急時にも、すぐに対応できるようにしております。</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>・認知症に詳しい医師と連携を築き、治療を受けられるよう支援しております。</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>・他事業所との兼務ですが、週に1度は看護師が勤務しております。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>・医療機関と連携を取り、ご家族様とも連絡を取り、早期退院に向け支援しております。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>・医療連携指針を作成し、終末期のありかたについて、ご家族様に説明をさせて頂いております。又、かかりつけ医との連携を図っております。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>・重度化の変化に備え、かかりつけ医と相談し検討や準備を十分に行っております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	・移転先の関係者やご家族様に必要に応じて、情報の交換や提供を行い支援しております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	・訪室や特にトイレの時にはきちんと確認し、プライバシーを損ねないよう対応しております。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	・言葉が中なかなか出ない方には焦らす事のないように、時間を掛けて言葉が出やすいように促しております。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・日課の散歩などは、それぞれの体力やペースに合わせて行っております。又、無理のない様に配慮しております。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	・色やデザインなどバランスを考えてご本人と選ぶようにしております。又、理容・美容等は定期的に行きつけの店や、訪問美容で対応しております。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	・入居者様個々の負担にならない程度に、意欲的にできることをして頂いております。又、食事が楽しみになるようにメニュー表を書いて頂いたり、会話の中でも献立の話しをしたりしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	・モーニングコーヒーを飲まれる方、又、お茶がなかなか飲めない時は、紅茶やお好きな物で楽しんで頂いております。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	・介助なしではトイレに行くことが困難な方達は、決まった時間で排泄できるように支援しております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	・どうしても入浴したくない時や体調のすぐれない日は、無理せずに様子を見て曜日を変更しております。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	・長く座位を取れない方や、体調のおもわしくない方は居室にて休まれるようにしております。その時は職員が定期的に見回りを行っております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	・それぞれのできることや希望等を聞き取り、行える様に支援しております。 ・催しや買い物等の外出の機会を増やし、楽しみや気分転換ができるように配慮しております。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・ご本人の希望を聞き、自己管理できる方は現金を持っていただいております。 ・管理が必要な方は使用時に援助して使用しております。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	・天気の良い日は体調に合わせて毎日散歩に出掛けております。 ・行きたい場所があった時などは、レクに取り入れて職員と共に外出して頂いております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	・外出してみたい所の希望を聞き、行事として取り入れております。(カラオケ・ご自分の生まれ育った場所・馴染みの場所・家族の住んでいる所など)		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・手紙を出す支援や電話をかけたいと希望がある方には対応させて頂いております。定期的に手紙を出される方や、ご自分の携帯電話を持っている方もいらっやいます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・玄関には花を置いたり、壁掛けを飾ったり、掃除をまめに行い環境整備にも注意し、家庭的に入りやすいように工夫しております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・身体拘束を行わないように全職員が理解し、ケアを行っております。資料も見やすいように用意しております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	チャイムの設置により鍵を掛けないように工夫しておりますが、入居者様が外に出してしまう危険性を考え、鍵を閉めております。入居者様が出たいとの希望時には、職員が見守りのもと開けております。	○	・防犯や危険だと判断した時以外は施錠しないように取り組んでいきます。
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	・プライバシーに配慮しながら入居者様の行動を把握し、事故が起きないように安全に配慮して気をつけております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	・ご本人で管理できない方については職員が見守りものと使用して頂いたり、管理しております。又、管理できる方については、自己管理されておりますが、注意して見守りしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	・個々の入居者様の行動パターン・身体状況を把握し、事故につながらないように注意しております。 ・職員については、常に声を掛け合いながら事故防止に取り組んでおります。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	・年2回の避難訓練や応急救護を学んでおります。又、マニュアルも作成し、すぐに見られるように配置しております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	・マニュアル作成や避難訓練、地域への協力などには取り組んでおります。 ・運営推進会議など、地域住民の方々が集まるられらときは、協力を得られるようはたらき掛けております。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	・ご家族の面会時には近況報告を行い、健康管理や今後起こり得る事などを説明させて頂いております。又、定期的に近況報告を行っております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	・毎日のバイタルチェック、その他入居者様の表情や様子など、常に変化がないか見守っております。 ・変化があった場合は、口答や連絡ノートを使用して全職員が情報を把握して対応しております。又、かかりつけ医との協力体制もできております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	・薬の袋を朝・昼・夕・就寝ごとに色分けし、日付の記入を行い、内服の確認は職員2名で必ず行っております。 ・薬の内容については、処方箋を確認しております。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	・排便チェック表の記入を行い、排便の間隔があまりあかないように体操や歩行運動などで便秘予防に努めております。又、水分補給や食べ物の工夫を行っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	・毎食後、口腔洗浄。歯磨きを行っております。自立されている方も見守りを行い、磨き残しがないように気を配っております。 ・又、入れ歯は就寝時に洗浄剤に漬けて、清潔保持に努めております。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	・栄養士による献立、カロリー計算によりバランスよく食事をして頂いております。 ・水分については1000～1200mlを目安に温かい物、冷たい物等、気温や季節に応じて飲みやすいように工夫しております。 ・チェックが必要な方には水分摂取表を作成し、水分摂取の支援を行っております。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・感染症のマニュアルを作成し、全職員が感染症に対する対応ができるようにしております。 ・又、インフルエンザ(新型を含む)やノロウイルスに対して定期的なタオル交換や消毒、外出から戻られた時のうがいを行っております。 ・職員は出勤時には必ず、うがい・手洗いを行っております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	・衛生管理簿を作成し、全職員が把握できるようにしております。 ・食材については、調理の際に変色・ニオイ・賞味期限の確認をしております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	・玄関周りに花を植えたり、鉢植えを置いて明るく楽しい雰囲気ができるようにしております。 ・又、ホーム周辺のゴミ拾いや掃除も定期的に行い、清潔を保つように心掛けております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・月々のカレンダーの作成、季節による飾り付けなどで気持ちが穏やかに明るくなるように工夫しております。又、季節の花なども飾るように心掛けております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・玄関にソファを置いたり、居間にも大小のソファ、一人かけの椅子を置き、自由にゆっくり過ごせるようにしております。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・家族の写真を居室に飾ったり、馴染みの家具などを配置してご本人が安心して過ごせるように配慮しております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空気の入れ換えや吸気清浄器を使用して、常に新鮮な空気になるように心掛けております。又、季節により扇風機・加湿器・湿度温度計の設置によりチェックしております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	・手すりや昇降機を設置しております。安全に歩行、生活ができるように廊下には物を置かないように気をつけております。又、個人の居室の環境整備も掃除の際に行っております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	・「できること」は職員は見守りを行っております。本人のペースに合わせて行って頂いております。日頃からコミュニケーションを密に取るようにし、わからなくなった際には助言や援助を行うことで、わかる力を引き出せるように努めております。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	・天気がよい日には、外でラジオ体操やレク・菜園活動を行っております。町内の散歩の後には、庭でお茶を飲んだり楽しく元気に毎日を過ごせるように努めております。		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない</p> <p>① 日頃から一人ひとりの入居者様とのコミュニケーションを行うことで、会話の中から入居者様の求める事をくみ取り援助できるように心掛けております。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない</p> <p>① 一緒に貼り絵や歌を唄ったり、花に水をあげたり入居者様と一緒にゆっくり過ごせる時間を作ります。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 読書が好きな入居者様には、居室でゆっくりと読む時間を作るなど、一人ひとりのペースで生活して頂いております。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① コミュニケーションを行いながら、支援を行うことで活気ある笑顔が見られています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 春には花見に行くなど、季節に合わせた外出を行っています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 定期的な往診、受診を行い、毎日のバイタルチェック等で早期発見・予防ができるように職員・看護師もコミュニケーションを行いながら変化や訴えに気づけるよう努めてお</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 一人ひとりの変化に合わせた対応を行っております</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない</p> <p>① 面会に見えられた際には生活状況を説明し、ご家族との会話の時間を作るように心掛けております。変化があった際には電話で状況を説明する等の対応を</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない</p> <p>② ご家族や知人の方の面会も見られています。又地域の方もボランティアとして入居者様と一緒に品作りをされております。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>② 散歩の際には多くの地域の方に声を掛けて頂 おります。</p>
98	職員は、生き生きと働けている	<p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>① 組織の一員として自覚し、お互いが助け合 業務にあたっております。</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>① 日々の生活の中で自分の役割を持ち、楽し 過ごされていると思います。</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>① 行事の内容やケアプラン等に賛同して頂い おります。</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

・運営理念を目標に入居者様の事を「自分の親だったら」「自分だったら」と考え、日々ケアを行っております。入居者様と共に掃除や料
理を日々行っておりますが、同じ事の繰り返しではなく、外出を多く取り入れ、泊まりでの旅行も行かれて皆様楽しまれております。
「できること」は積極的に行って頂き、ADLの維持、筋力の低下防止に努め安心し、楽しく・活気ある生活をしていただけるように支援して
おります。